

枚方市NPO活動応援基金

補助事業報告レポート



皆様に感謝を込めて、ご支援いただいた5法人の取り組みをご紹介します！

枚方市 市民活動課

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号
電話：072-841-1273（直通） FAX：072-841-5133
電子メール：skatudo@city.hirakata.osaka.jp



枚方市NPO活動応援基金補助事業一覧

	事業名及び法人名	補助金交付額
①	未来を創るスタディサークル 【特定非営利活動法人スノック】	90,135円
②	えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業 【特定非営利活動法人ハーモニークラブ】	300,000円
③	大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会 【特定非営利活動法人大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会】	287,000円
④	精神障害者に関する地域交流事業 【特定非営利活動法人陽だまりの会】	293,131円
⑤	ひらラボ里山ユースプロジェクト 【NPO法人ひらかた生物飼育部LABO】	420,000円

補助総額：1,390,266円



①「未来を創るスタディサークル」

～対話・学び合いを通して新たなコミュニティの創出へ～

【特定非営利活動法人スノック】



活動紹介

平成15（2003）年より有志にて活動を開始。
令和2（2020）年に法人格を取得。

主な活動場所は、市内施設など。

高齢社会や生産年齢人口減少などによる社会課題解決のための活動を通して、社会全体の利益の増進に寄与することを目的に、さまざまな活動を実施。

- 1 読書会の開催
- 2 未来を創るスタディサークル事業 など



法人へのお問合せ先

〒573-0013

所在地 枚方市星ヶ丘2丁目22番75-105

代表者 絹川 誠

電話番号 050-5375-4650

電子メール snoknpo@gmail.com

ホームページ <https://snok.org>

～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

スウェーデンの生涯学習の場であるスタディサークルを参考に「未来を創るスタディサークル」を枚方市内において年間9回開催しました。

学び合うテーマは、参加者同士で、今何を学びたいと思っているのか、何を学ぶ必要があるのか、について対話を深めながら決定し、決定したテーマの理解を深めるために外部講師に3回参加を依頼しました。

また、スタディツアー等も実施しました。

対象者

枚方市民及び近隣市在住者
(中学生・高校生・大学生・社会人・主婦など)

実施日時・場所

実施日時：年間9回

実施場所：枚方市総合文化芸術センター ほか



団体登録のきっかけ

「スタディサークル」を開催するための会場代や交通費、外部講師謝礼代などが不足していたため、団体登録しました。

事業の成果

スタディサークルの会場賃借料や講師謝金などへ補助金を活用しました。

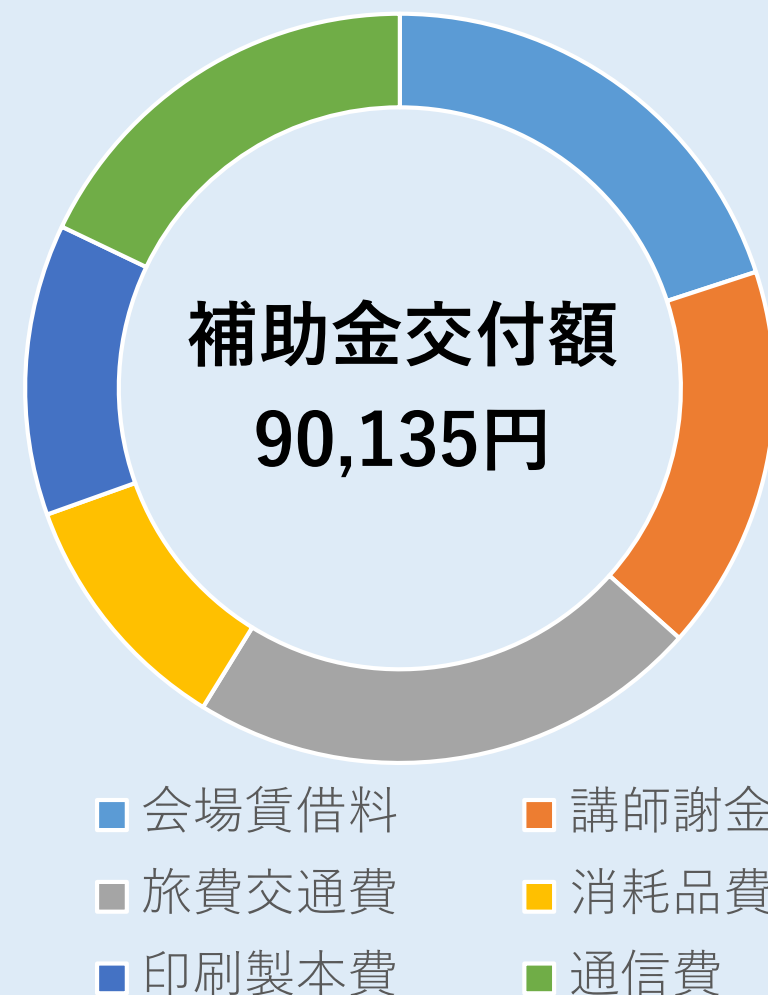
基金を活用することで、外部講師を招いたり、交通の便の良い枚方市駅付近で開催することができました。また、実際に講師の方から話を聞くことで、参加者の学びを深めることができたと感じました。

今回、補助事業として事業を実施することにより、活動の幅を大きく広げることができました。補助事業を通じて人の輪が広がることで、さらに新しい取り組み（子ども食堂や生涯学習の場）も生まれようとしています。

今後の取り組み

スウェーデンではスタディサークルの振興が国策として実施されています。スタディサークルで大切にされている概念を紹介することで、日本でもスタディサークルを通じて人々が豊かに生きることができる社会を形作る一助になるよう、継続してスタディサークルを運営していきたいと考えています。

補助金の使い道



②「えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業」

～ありのままでいきられるための親子の場づくり～

【特定非営利活動法人ハーモニークラブ】



活動紹介

平成31（2019）年に法人格を取得し活動を開始。

主な活動場所は、市内の保育・教育施設や地域の子どもイベント等での出張公演。

法人オリジナルの作品であるえほんライブや保育サロンを通して、ありのままに生きられるための場づくりを展開し、新たな保育の担い手の応援や保育に役立つオリジナル作品の開発などの活動を行っている。

- 1 えほんライブの上演・パフォーマー養成活動
- 2 親子の場づくり活動
- 3 人材育成事業 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-1126
枚方市上島東町14-1
ルファルひらかた社協5階

代表者 井上 千晴

電話番号 080-4393-8255

電子メール info@harmony-club.jp

ホームページ <https://harmony-club.jp>

～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

えほんライブ（絵本と音楽が一体となった作品で、朗読と歌や音楽、映像などを用いた体験型ライブ）や、体験型活動（音楽活動や工作、体を使った簡単な遊び等）を実施して、自己肯定感を育む取り組みを実施しました。

保育サロンでは、保育や子育て支援の現場の課題やニーズの聞き取りや、コンテンツを活用した事例のシェアなど保育や教育についての情報交換を行いました。

また、えほんライブとワークショップを組み合わせたボランティア体験講座を開催しました。

対象者

地域の子どもや保護者、保育士などの教育関係者、高齢者等

実施日時・場所

【親子広場でのえほんライブ・体験型活動】

実施日時・場所：年間5回・岡本町会館

【野外イベントでのえほんライブ】

実施日時・場所：年間2回・岡本町公園

【保育サロン】

実施日時・場所：年間13回・主にオンライン開催

【ボランティア体験講座】

実施日時・場所：令和5年7月22日（土）・枚方市総合文化芸術センター



団体登録のきっかけ

活動資金が不足しており、寄附を募っても集まらない状況が続いていた中で、より多くの寄附者を募ることを目的として団体登録を行いました。

事業の成果

親子広場・野外イベントの運営スタッフ、保育サロンの人件費等に補助金を活用しました。

基金を活用して、親子広場や野外イベントでえほんライブ上演や体験型活動等ができたことで、地域の子どもから高齢者まで幅広く参加していただき、自己肯定感を育む活動ができました。

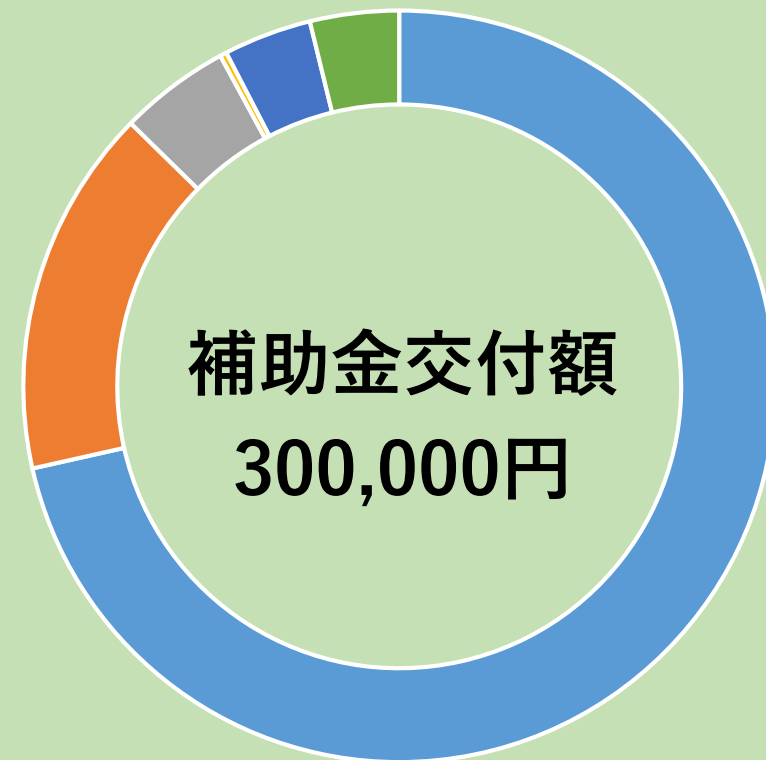
また、保育オンラインサロンでは、保育士からの要望により保育ソングの楽曲制作や、保育園児の劇遊びでえほんライブ作品をするにあたり、保育士の園児指導に関する支援を実施しました。

ボランティア体験講座では、自分の好きな事や得意な事の自己理解が深まりボランティアの実践につながりました。

今後の取り組み

令和6年度も本補助金を申請しています。えほんライブや体験型活動の実施、ボランティア体験講座や保育サロンの開催を引き続き実施する予定です。

補助金の使い道



- 人件費
- 交通費
- 講師謝礼
- 会議費
- 消耗品費
- 印刷製本費

③「大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会」

～笑顔に満ちあふれた子どもたちによる踊りの祭典～

【特定非営利活動法人大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会】



活動紹介

平成22（2010）年に法人格を取得。

主な活動場所は、ニッペパーク岡東中央（岡東中央公園）。

青少年の健全育成を目的とした市民参加型の踊りの祭典「大阪メチャハッピー祭in枚方」を開催することで、子供たちの成長を支援。

- 1 「大阪メチャハッピー祭in枚方」開催事業
- 2 大阪メチャハッピー祭「本祭」の支援事業



法人へのお問合せ先

〒573-1163

所在地 枚方市甲斐田新町10－6

代表者 久保田 三十師

電話番号 072－847－7408

FAX番号 072－898－5773

電子メール mechahappi@gmail.com



～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

青少年の健全育成を目的として、ニッペパーク岡東中央（岡東中央公園）内にステージを設けて、子どもたちの踊りの祭典を開催しました。

祭典当日に向けて、市関係施設へチラシを配布し周知するとともに、実行委員会を立ち上げ、準備やスタッフの役割の確認を入念に行いました。

対象者

市内在住の幼児、小・中学生、他自主団体

実施日時・場所

実施日時：令和5年9月23日（土）

実施場所：ニッペパーク岡東中央（岡東中央公園）



団体登録のきっかけ

新型コロナの影響により、各種団体に寄附を募っても集まらず、自己資金も不足しており、満足のいく事業が実施ができないと思われたため、資金確保のため団体登録しました。

事業の成果

会場設営費や音響機器レンタル費に補助金を活用しました。

特に会場設営費によりフロアシートを購入することができたため、子どもたちがより安全に踊りに参加できる場を提供することができました。

新型コロナの影響により、数年ぶりの開催となりましたが、基金を活用することで多くの子どもたちの笑顔があふれる祭典を開催できました。

今後の取り組み

今年度も本祭典の開催を予定しています。

引き続き、市教育委員会などの関係機関などに協力を依頼し、事業の拡大に努めるとともに、企業や各種団体にもPRしていきます。

補助金の使い道

補助金交付額
287,000円

■ 会場設営費 ■ 音響機器レンタル費

④ 「精神障害に関する地域交流事業」

～精神障害に対する理解を深めるために～

【特定非営利活動法人陽だまりの会】



活動紹介

昭和59（1989）年に任意団体として活動を開始。
平成11（1999）年に法人格を取得。

主な活動場所は、法人事業所、市内周辺など。

精神障がい者の自立と社会参加を推進し、あたりまえに暮らせる社会の実現をめざし、人が人として尊重され、自己実現が可能となる社会の創造に努めることを目的に、さまざまな事業を実施。

- 1 精神障害者についての啓発活動（地域交流事業）
- 2 障害者総合支援法に定める給付事業
- 3 地域生活支援事業 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-1161
枚方市交北2丁目7-15

代表者 津田 佳積

電話番号 072-809-0015

FAX番号 072-809-0015

電子メール npoh@juno.ocn.ne.jp

ホームページ
<https://www.npohidamari.jp/>

～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

市民講座については、精神障がい者の支援を地域で密着した形で長年続けてきた埼玉県「やどかりの里」の理事長やピアサポーターを招いて市民講座を開催し、93人の参加者がありました。

地域ふれあいまつりは、近隣の市民を中心に131人の参加があり、地域の障害者作業所からも4団体が模擬店を出店しました。もちつき大会は、地域の市民を中心に129人の参加がありました。

対象者

市内在住・在職の市民など

実施日時・場所

【市民講座】

日時：令和5年10月28日（土）

実施場所：枚方市総合文化芸術センター

【地域ふれあいまつり】

日時：令和5年11月3日（金・祝）

実施場所：法人敷地内

【もちつき大会】

日時：令和6年2月10日（土）

実施場所：法人敷地内



団体登録のきっかけ

近年、日々の業務や資金的な関係により、市民に対して精神障がいに対する理解を深めてもらうための事業に充分取り組めていない状況でした。そのため本基金を活用し、講演会やシンポジウム、また地域ふれあいまつり等のイベントを開催することにより、住民に精神障がいへの理解を深めてもらいたいと考え、申請しました。

事業の成果

市民講座の講師謝礼金や旅費交通費などへ補助金を活用することで、遠方の著名な講師を招くことができ、参加者に貴重な講演を聞いていただく機会を提供することができました。

地域ふれあいまつりやもちつき大会は、地域にある障がい者が働き集う場所で、障がい者と共にイベントを体験していただくことができました。また、イベント案内用のミニコミ誌をカラーで作成することができ、住民の方に関心を持っていただくきっかけになったように感じました。

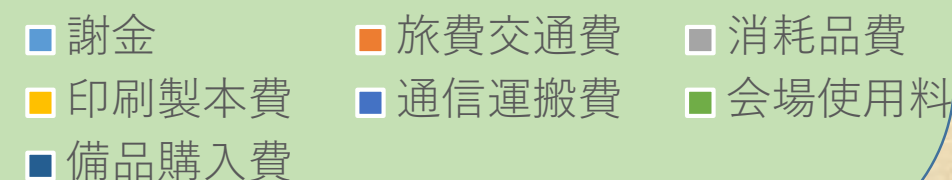
今後の取り組み

市民講座については、今年度も開催予定です。

もちつき大会については、参加費により開催できる目途が立ったため、本基金を活用した事業とはしませんが、地域ふれあいまつりは、今年度も本補助金の対象事業として、住民への周知を図るとともに、開催内容を工夫していきます。

補助金の使い道

補助金交付額
293,131円



⑤ 「ひらラボ里山ユースプロジェクト」

～里山の生物多様性を保全し未来へ残すために～

【NPO法人ひらかた生物飼育部LABO】



活動紹介

令和3（2021）年に法人格を取得。

主な活動場所は、枚方市穂谷地区など。

枚方市周辺及び日本全国の自然環境の保全と地域づくりに寄与することを目的に、絶滅危惧種とその生息地(里山)の保全活動をはじめ、生物に関するさまざまな活動を実施。

- 1 絶滅危惧種とその生息地(里山)の保全活動
- 2 生物や自然環境の調査・研究・飼育に関する活動
- 3 生物や自然環境に関する情報収集・展示 など



法人へのお問合せ先

〒573-1145

所在地 枚方市黄金野 1 丁目 1 - 6

代表者 石飛 ひなた

電話番号 0 9 0 - 3 8 6 6 - 1 5 7 2

電子メール hira419labo@gmail.com

ホームページ
<https://hira419labo.wixsite.com/hiralabo>



～枚方市NPO活動応援基金を活用して実施した事業の紹介～

事業内容

生物多様性の保全を目的に「ひらラボ里山ユースプロジェクト」と称して、SNSやチラシの配布などを通じて里山や生物多様性に興味のある人を募集し、里山整備体験会を実施しました。

参加者には、スタッフとともに耕作放棄水田の整備や生物調査などを体験していただきました。また、大学生、高校生、生物教諭のスタッフより、里山や生物多様性について講義しました。

対象者

里山や生物多様性に興味のある中高生
および家族

実施日時・場所

実施日時：令和5年8月26日（土）

実施場所：枚方市穂谷地区の里山耕作放棄水田



団体登録のきっかけ

法人の自立した運営を目指すために、初期資金が必要でした。また、里山の生物多様性について市民が体験できる機会をつくりたいと考えていましたが、資金面での課題が多く、団体登録を行いました。

事業の成果

事業実施に必要な記録用のカメラの購入費や生物調査用品などに補助金を活用しました。

基金を活用して体験会を開催したことで、特に若い世代への里山の重要性と生物多様性について、実体験から考えてもらうきっかけをつくることができました。「とても楽しく、学びがあった。」という声が多くあり、枚方市の生物多様性を担っていく若者に対して大きな貢献をすることができました。

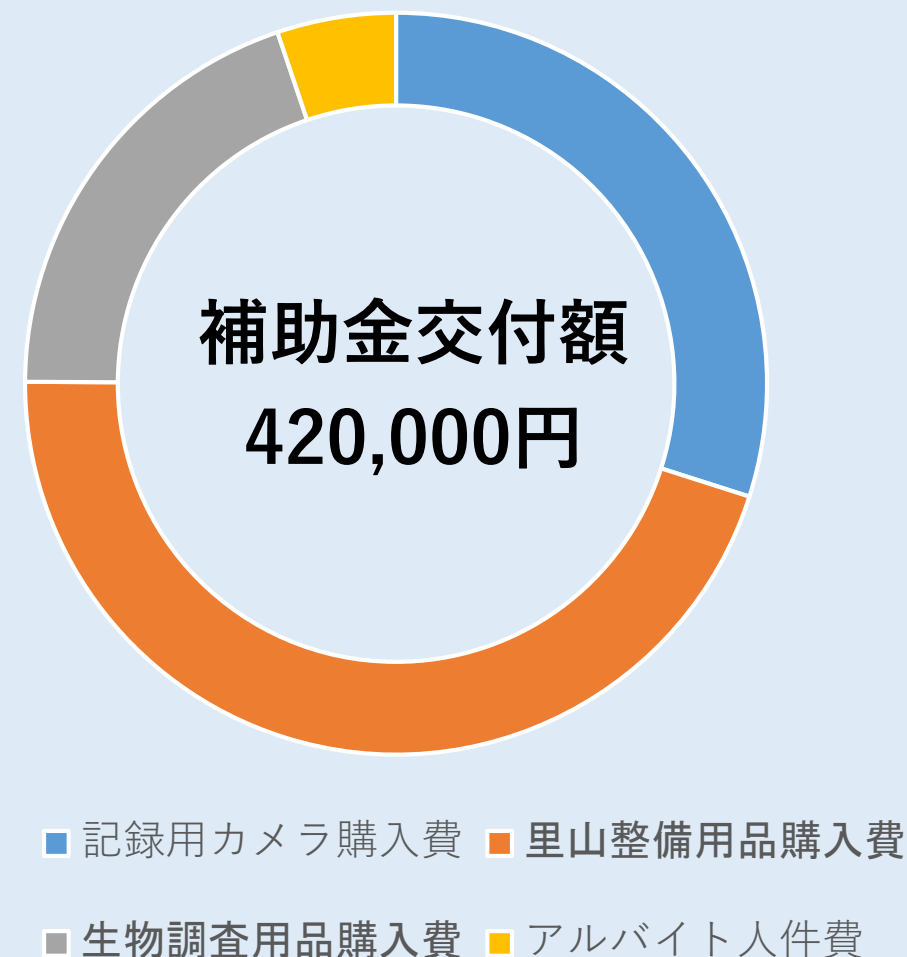
また法人の活動についても知っていただくきっかけとなり、会員の獲得にもつながりました。

今後の取り組み

引き続き、枚方高校生物飼育部とともに里山を整備し、絶滅危惧種の生息地を守る活動を実施していきます。

また、次年度（2025年度）は第2回となる「ひらラボ里山ユースプロジェクト2025」を実施予定です。

補助金の使い道



皆さまのご寄付により、 令和5年度の活動が実施できました

引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

よろしく
お願いします。



枚方市キャラクター
ひこぼしくん

令和5（2023）年度
枚方市NPO活動応援基金補助金 交付団体

- 1 スノック
- 2 ハーモニークラブ
- 3 大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会
- 4 陽だまりの会
- 5 ひらかた生物飼育部LABO

以上 5団体
補助総額：1,390,266円

枚方市NPO活動応援基金は、引き続き寄附を募集しています！

枚方市NPO活動応援基金



本基金の詳細は
こちら



ふるさと納税の詳細は
こちら

